

## 事業成果報告書

1. 個人または団体名(団体の場合は代表者名も記入)	
柳原恵	(代表者名: )
2. 研究または活動のテーマ(課題名)	
『東北・土着のフェミニズムを求めて—〈化外(けがい)〉の〈おなご〉の声』(仮題)の出版	
3. 助成額	
450,000	円
4. 実施期間	
2017年7月～2018年3月	
5. 実施状況	
2017年7月6日	出版社と打ち合わせ(於:ドメス出版/東京) 編集方針に関して話し合う。その後、修正稿を送付。
2017年8月5日	出版社と打ち合わせ(於:ドメス出版/東京) 初校を受け取り、各章の内容についておよび表紙の装丁について話し合う。
2017年8月中	初校を修正。表紙版画を彫刻家・児玉智江氏に依頼。花巻市図書館等で資料調査。
2017年8月25日	ドメス出版と打ち合わせ(於:新宿) 修正した初校を提出、初校の修正内容に関して話し合う
2017年10月	再校を受け取り、修正。担当編集者との相談の上、本のタイトルを『〈化外〉のフェミニズム——岩手・麗ら舎読書会の〈おなご〉たち』へ変更する。
2017年11月	三校を受け取り、修正。
2017年12月	四校を受け取り、修正。索引、著者略歴等を作成。 担当編集者と Skype 打ち合わせを実施。
2018年1月	念校を受け取り、修正。
2018年2月	校了。
2018年3月8日	『〈化外〉のフェミニズム——岩手・麗ら舎読書会の〈おなご〉たち』刊行。
2018年3月21日	ドメス出版へ製作費・出版経費を支払う。
6. 事業成果と自己評価	

造本：A5版、カバー装、上製本、314ページ

定価：本体3,600円＋税、初版部数：800部

出版事情の厳しい中、貴基金の出版助成をいただいたことで、『〈化外〉のフェミニズム——岩手・麗ら舎読書会の〈おなご〉たち』の出版にこぎつけることができました。本書は2015年3月にお茶の水女子大学へ提出した博士論文をもとに、書き下ろしを含め大幅な改稿を加えたものです。リブやフェミニズムという言葉がない頃から、新しい生き方を求めて奮闘してきた東北・岩手の女性たち——〈おなご〉たち——の思想や活動の内実を解明し、その歩みを日本のフェミニズム史に位置づけることを目的としています。

出版後、加納実紀代氏「孫世代がひらくリブの新次元」Women's Action Network(WAN) (<https://wan.or.jp/article/show/7927>)、樋口恵子氏「“女たちの思い”掘り起こす」『日本農業新聞』(2018年6月24日)等の書評をいただき、地元紙・『岩手日報』「郷土の本棚」(2018年7月1日)でもご紹介いただきました。また、本書の出版が契機となり、2018年度日本オーラルヒストリー学会、オーラルヒストリー総合研究会等での発表依頼をいただき、WAN上野千鶴子ゼミ書評セッションでも取り上げていただくことが決定しています。

個人的な事情になりますが、博士号取得の翌月に出産し、育児をしながら研究復帰を目指しているさなか、夫の仕事の都合で南米チリへ渡航しました。研究者としてのキャリアを中断せざるを得ない期間に竹村和子先生の基金に採択していただいたことは、費用面もさることながら、自身の研究の価値が認められているのだという大きな精神的支えにもなりました。また、本年度から日本学術振興会PDにも採用され、研究者としてのキャリアを再開することができました。審査にあたっては、貴基金の助成金を取得し、本の出版が決まっていたこともプラスに働いたのではないかと推測しています。心より感謝申し上げます。